

## 平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	松炭の生産(刀鍛冶使用)、里山整備
事業主体 (連絡先)	滝山炭焼きの会 代表堀内清 長野県小県郡青木村奈良本 764-11
事業区分	(6) ウ森林づくりと林業の振興
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,365,786 円 (うち支援金: 2,941,000 円)

### 事業内容

手入れのされていない山林の間伐と、その有効利用。  
特に、松材については建築材料での利用がなされておらず、山林所有者も販売しても収入にならないのが現状です。また、刀鍛冶の宮入法廣氏(東御市在住)より震災で東北からの松炭が入手困難なため松炭を焼いてほしいとの依頼もあり、間伐材や森林組合での里山整備事業で切り出された松材も活用し、炭焼きを実施。

地域活性化も視野に置き、地域住民の参加で現在12名の参加で行っている。

- ・本年度は、12窯で約3t松炭を生産
- ・里山整備の間伐材、森林組合の里山整備で搬出材、倒壊危険な山林の伐倒材を使用

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 松炭が3tの生産があり4名の刀鍛冶への供給を行っている。良い炭との評価もいただきました。
- ② 里山整備の効果から獣害被害が減少したとの地元農家からの声もありました。
- ③ 民家へ倒壊被害が出ていた山林の伐倒を行い、毎年被害がありましたが、幅約100m×縦約20mで伐倒を行い(樹齢45年、径約45cm)、山主、住民より感謝いただきました。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

現在の窯で生産できる炭は4名の刀鍛冶分が使用する量であり、他の刀鍛冶からの要請があるため2基目の建造もH28年度では行いたい。

子供たちの森林、木材、山の自然などでの体験学習の場ともしていきたい。(H27年には青木小3年生が遠足で来場)



【材料の薪割り】

### 【目標・ねらい】

- ① 里山を守り、木材の有効活用
- ② 伝統である刀づくりのために、刀匠の皆さんへの協力
- ③ 多くの住民参加での地域活性化

### ※自己評価【 A 】

#### 【理由】

メンバー皆が未知であった窯づくり、炭の焼き方もクリアでき、その道のプロの方たちの指導もあり、また、メンバーの熱意のたまものと思う。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある